

# 利賀ダム建設事業の概要

北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所

# 利賀ダム建設事業の概要

- 河川名： 一級河川庄川水系利賀川
- 位置： 富山県南砺市利賀村
- 事業費： 約1,640億円
- 工期： 令和13年度



## ①洪水調節

ダム地点の計画高水流量770m<sup>3</sup>/sのうち、500m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行う。

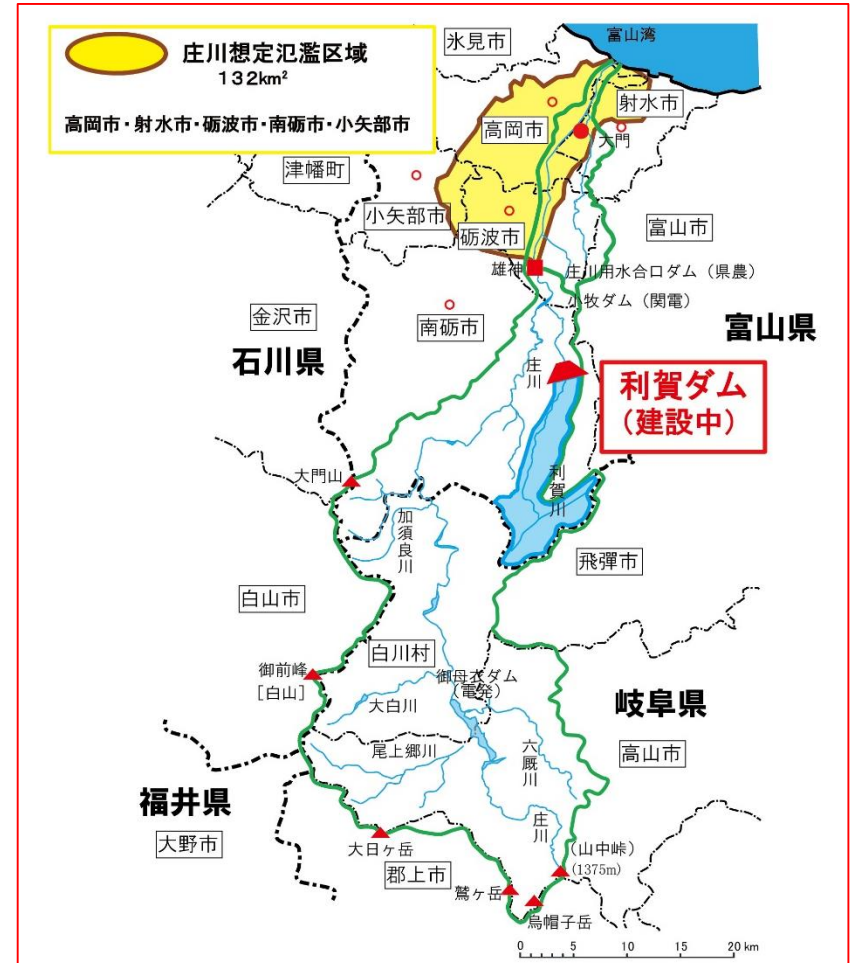
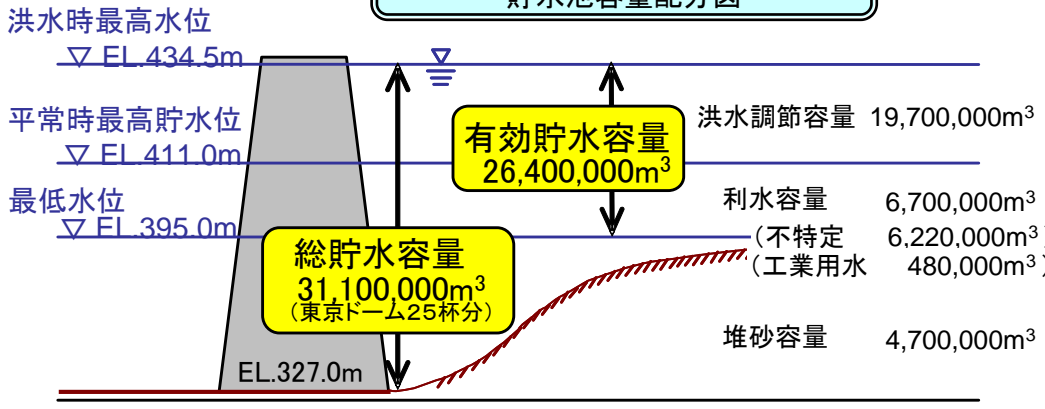
## ②流水の正常な機能の維持

庄川本川及び支川利賀川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進をはかる。

## ③工業用水道

富山県に対し、庄地点において、工業用水として新たに1日最大8,640m<sup>3</sup>/日(0.1m<sup>3</sup>/s)の取水を可能ならしめる。

貯水池容量配分図



# 利賀ダムの概要

## 利賀ダム建設の目的

### ①洪水調節

ダム地点の計画高水流量770m<sup>3</sup>/sのうち、500m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行う。

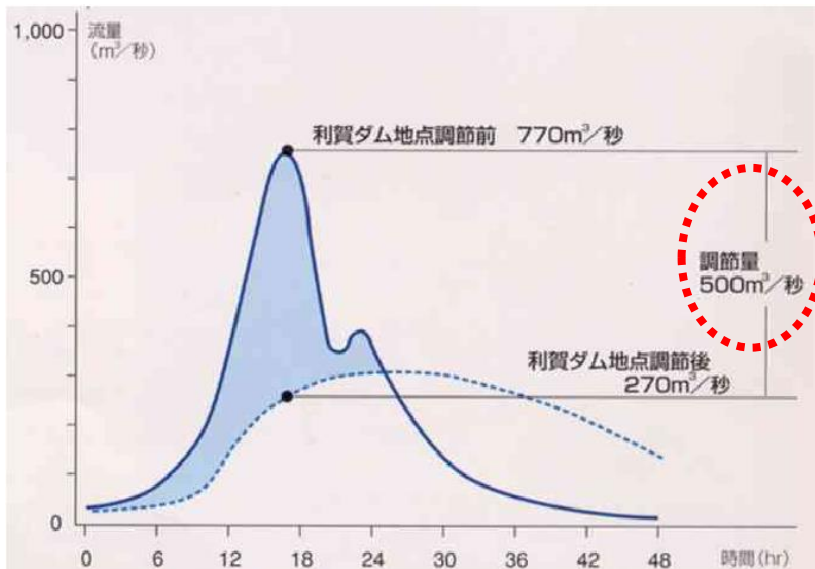
### ②流水の正常な機能の維持

庄川本川及び支川利賀川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進をはかる。

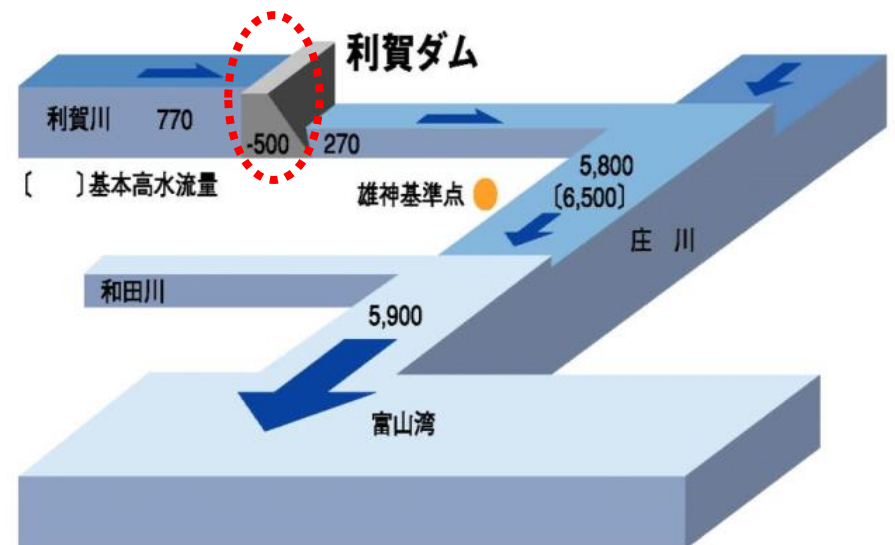
### ③工業用水道

富山県に対し、庄地点において、工業用水として新たに1日最大8,640m<sup>3</sup>/日(0.1m<sup>3</sup>/s)の取水を可能ならしめる。

## ◆洪水調節図



## ◆計画高水流量配分図








# 利賀ダム建設事業の経過

平成元年5月	実施計画調査に着手、利賀ダム調査事務所開設
平成5年4月	建設事業に着手、利賀ダム工事事務所に改称
平成6年11月	基本計画告示
平成15年9月	水没家屋全戸（3戸）生活再建地へ移転完了
平成19年7月	庄川水系河川整備基本方針策定
平成20年7月	庄川水系河川整備計画策定
平成21年3月	基本計画（一部）変更告示 <ul style="list-style-type: none"><li>・総事業費 約900億円 → 約1,150億円</li><li>・予定工期 平成20年度 → 令和4年度(平成34年度)</li></ul>
平成22年9月	国交大臣から利賀ダム事業の検証に係る検討の指示
平成28年8月	ダム事業の検証に関する対応方針決定（継続）
令和2年8月	基本計画（一部）変更告示 <ul style="list-style-type: none"><li>・総事業費 約1,150億円 → 約1,640億円</li><li>・予定工期 令和4年度 → 令和13年度</li></ul>
■ 事業の進捗	約34%（R2年度末見込み 変更事業費ベース）

# 利賀ダム建設事業の進捗状況

(令和2年3月末時点)

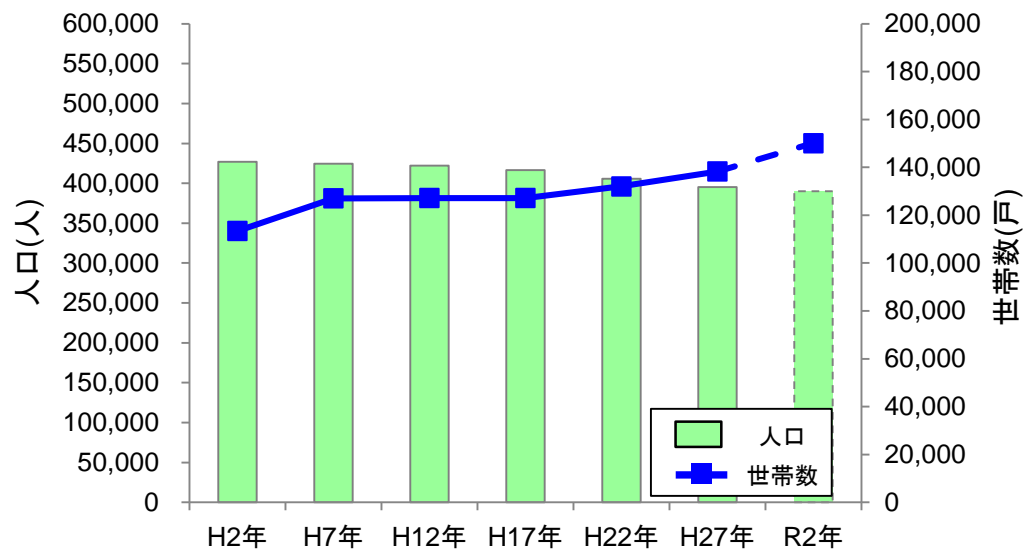
補償基準	H12. 3 利賀ダム工事用道路建設に伴う補償基準妥結 H14. 12 利賀ダム建設事業に伴う補償基準妥結 H15. 6 利賀ダム工事用道路等（口山地区）補償基準妥結	} 地権者との用地補償等に 係る基準は全て妥結
用地取得 (136ha)	69% (94ha)	
家屋移転 (3戸)	100% (3戸)	
代替地(宅地)	100% (3戸移転済)	
付替市道 (3.0km)	67% (2.0km)	
工事用道路 (11.7km) ※現道改良区間を除く	67% (7.8km)	<p>H31.3時点</p> <p>※工事用道路11.7kmのうち9.2kmは、 国道471号バイパスとの合併施行</p> <p>※工事用道路11.7kmのうち67%が 着手済み</p>
ダム本体及 び関連工事	※ダム本体工事については未着手	<p>利賀トンネル(河床進入) 着手による</p>

※  - 用地取得  - 代替地  - 付替市道  - 工事用道路  - 本体関連



# 事業を巡る社会情勢等

- 庄川沿川の想定氾濫区域関連市町村(高岡市、射水市、砺波市、南砺市、小矢部市)人口は40万人程度で推移しており、大幅な増減は見られない
- 庄川沿川地域では、平成27年3月に北陸新幹線が開業し、人・経済・文化等の幅広い交流・流通拠点として、今後更なる発展が見込まれる。



※H2年～H27年までは国勢調査結果、R2年は各市町村ホームページで公表されている数値(R2.3月末時点)から整理

図 想定氾濫区域 関連市町村人口推移

